

門脈血行異常症の治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 小児外科 職名 部長
氏名 畠山 理
連絡先電話番号 078-945-7300

実務責任者 所属 小児外科 職名 部長
氏名 横井 暁子
連絡先電話番号 078-945-7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、横井 暁子までご連絡をお願いします。

1. 対象となる方

西暦 2015年1月1日から 2021年12月31日までの間に、先天性門脈欠損症、肝外門脈閉塞症、心疾患に伴う後天性門脈体循環シャントのために、門脈造影を施行された方

2. 研究課題名

高アンモニア血症を呈する門脈血行異常症の検討

3. 研究実施機関

兵庫県立こども病院小児外科

4. 本研究の意義、目的、方法

門脈血行異常症では、腸管から吸収された栄養が肝臓を通らずに体循環に入るために様々な症状を呈します。中でもタンパク質の代謝過程で生成されたアンモニアが肝臓で代謝されずに体内を巡るため、脳に影響を及ぼすことが知られています。治療は、肝臓に流れる門脈血流を増やす手術は有効と考えられますが、肝内門脈の形態によっては、そのような手術は困難もしくは不可能な場です。そのような場合は肝臓移植しか現在のところ有効な手はありません。しかし、門脈血行異常症の中には、高アンモニア血症はあっても、日常生活に大きな影響がなく生活されている方もおられます。門脈血行異常症の高アンモニア血症の治療方針については、症例も少なく現在はっきり決まったものではありません。本研究では、該当する方の臨床経過や画像、検査データをカルテからレビューし、本病態における治療方針を明らかにします。

5. 協力をお願いする内容

診療録を閲覧させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2022 年 1 月 31 日～2022 年 3 月 31 日 (予定)

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ(匿名化データ)として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院 小児外科 横井暁子

電話 078-945-7300

FAX 078-2012-1023

E mail yokoi_kch@hp.pref.hyogo.jp

以上